

「大館曲げわっぱ 150 年の森育成事業」に参加しました！

令和 8 年 7 月 15 日、大館市が主催する「令和 8 年度 大館曲げわっぱ 150 年の森育成事業」が、地元小学校や北鹿地域林業成長産業化協議会等の協力を得て開催され、当署から 5 名、上小阿仁支署から 4 名の職員が参加しました。

本事業は、天然秋田杉に替わる秋田杉人工林の育成を進め、伝統工芸品「大館曲げわっぱ」を次世代に継承するとともに、小学生が植栽や除間伐等の体験を通じて、地元の伝統文化と森林環境保全・保護を大切に思う心を育むことを目的として実施されています。



開会式の様子

今回は、早口小学校・山瀬小学校の 6 年生計 28 名が参加し、大館市岩瀬の市有林において「下刈り」と「つる切り」の林業体験を行いました。児童たちは刈込バサミを使い、スギの周りに生えた下草やつるを刈り払い、スギに絡んだつるを引きはがしていきました。作業が終了する頃には、造林地は見違えるほどきれいに整備されました。

林業体験の後、会場を山瀬ダムへ移し、当署の森林技術指導官による「林業や秋田杉」をテーマとした森林教室を開催しました。クイズを交えながら林業や秋田杉について学び、児童たちは熱心に耳を傾けていました。

閉会式では、各学校の代表児童から「秋田杉のことを楽しく知ることができた」「秋田杉の大切さや 150 年もかけて育てていることを知ることができた」といった感想が発表されました。今回の体験を通じて、児童たちは森林や林業、木材への理解を深めることができました。



当署署長のあいさつ



作業方法や注意点の説明



下刈り頑張るぞ



一生懸命につるを引っ張る



作業後はスギの周りがすっきり



森林教室で熱心に話を聞く児童